



垂井町「第6波」非常事態宣言改訂に係る府中地区まちづくりセンター利用について

- ・ 利用時間：午後8時まで
- ・ 該当期間：3月6日(日)まで

..... ご 報 告

第1回自主防災リーダー育成講座



1月23日、本年度1回目の自主防災リーダー育成講座が開催され、自治会長や自治会の自主防災隊長らが参加しました。

←垂井町企画調整課の久保田さん、平塚さんによる垂井町の過去の災害報告、地震の被害想定等説明が行われました。

→東消防署 寺下茂和救急救命士による、骨折箇所の固定や止血など、応急処置に欠かせない三角巾のたたみ方の指導がありました。



※2月6日に予定していた自主防災リーダー育成講座②は大雪のため、次年度繰越となりました。

ホタルの幼虫放流会 2月13日



青少年育成協力推進員会役員と府中地区まちづくり協議会役員がホタルの幼虫放流会を行いました。

←まず、8つある飼育水桶にはサンゴ・かわにな・幼虫が入っており、そこから幼虫を探し出す作業です。水桶に外来種のアメリカザリガニが入り込んでいたため、幼虫数が例年になく少ないという残念な状況が確認されました。

→続いていよいよ金地川ビオトープへ幼虫の放流です。5日から降り続き、記録的な大雪となりましたが、この日は、雪が残る中で放流となりました。

今年度初めて幼虫の里親を務めた邦幡雅史さんが飼育した幼虫は、丸々と太って大きく成長していました。大切に育てていただき、ありがとうございました！



府中歴史教室

2月19日、第6回府中歴史教室が開かれ、歴史・文化部会担当理事の小玉義弘さんが「民安寺を考える」のテーマで発表されました。

後光厳天皇が御臨幸された地方有数の寺院であった民安寺は、頓宮とともに府中にあったとする「府中説」を「垂井説」と比較しました。

それぞれの根拠として、「藤川の記」「小島のすさみ」など書物の記載、残存する地名や文化財などが詳細な資料と共に考察されました。

参加者は、府中と垂井に思いをはせ、両説の根拠に対して一緒に考える場となりました。



青少年育成協力推進員総会 令和4年3月5日(土)

時 間：19:00~20:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：令和3年度 事業・決算報告

第12回理事会 令和4年3月10日(木)

時 間：19:00~20:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：令和3年度 事業・会計報告について

第6回まちづくり会議 令和4年3月13日(日)

時 間：19:00~20:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：令和3年度 事業・会計報告

行事に参加するときは参加申込が必要です。

いきいきふれあいサロン

場所:府中地区まちづくりセンター

思い出のレコード

開催日：3月14日(月)
時 間：9:30~11:00
定 員：20名
参加料：100円

民謡・舞踊 (ほがらか府中)

開催日：3月27日(日)
時 間：10:00~12:00
定 員：20名
参加料：100円

3月の
休館日

1日、8日、15日、
22日、23日、29日
変更されることがあります。

SDGsについて学ぼう！

ジェンダー平等ってなんだろう？ 今の社会では男性の役割・女性の役割など、個人ではなく「性別」によって生き方や働き方が決められてしまうことがあります。そこで世界中で法律や制度を変えたり、教育やメディアを通じて意識を高める活動を行うことで、社会的・文化的に作られた性別を問い直し、すべての人の人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりのための取り組みがおこなわれるようになりました。

日本のジェンダー平等に関する現状は？

世界経済フォーラムが2021年3月、各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数を発表しました。この指数は、「経済」「政治」「教育」「健康」の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。

日本の順位は **156か国中120位**で先進国の中で最低レベルでした。特に、「経済」及び「政治」における順位が低くなっており、「経済」の順位は **156か国中117位**、「政治」の順位は **156か国中147位**となっています。政治分野では、スコアは上がっているものの、順位は下がっています。これは、**各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中で、日本が後れを取っている**ことを示しています。

ジェンダーギャップ指数(2021)上位国と他国の順位

順位	国名	順位	国名
1	アイスランド	16	フランス
2	フィンランド	30	米国
3	ノルウェー	87	ベトナム
4	ニュージーランド	102	韓国
5	スウェーデン	107	中国
11	ドイツ	120	日本

5 ジェンダー平等を実現しよう



10 人や国の不平等をなくそう



↑ 関係する目標

わたしたちにできることを考えよう！

家族でジェンダー平等について話し合おう

・仕事、家事、介護などを家族で協力・分担しましょう。家族がそれぞれ家事をどれくらい行っているか書き出して比べてみると、「我が家のジェンダーバランス」が見えてきます。

・出産は女性にしかできませんが、オムツ交換やミルクの準備などは男女ともにできます。男性も産休や育児休暇などを利用し育児に参加しましょう。

・「女性だから、男性だから」という固定観念にとらわれず、やりたいことに挑戦し、将来の選択肢を広げましょう。

・人口減少社会の日本において、男性の育児介護参加や女性の社会進出は欠かせません。男女の区別なく、みんなが助け合い、生産性の高い社会を実現しましょう。

出典:内閣府男女共同参画局等